

三田商会 富山高専に「共同教育」講座

最終3年目がスタート

「ものづくり」技術者育成への支援

三田商会(富山市問屋町2丁目5番5号、黒田昭社長)が2年前に富山高専で開設した「共同教育」講座が、今年、3カ年計画の最終年度を迎えた。

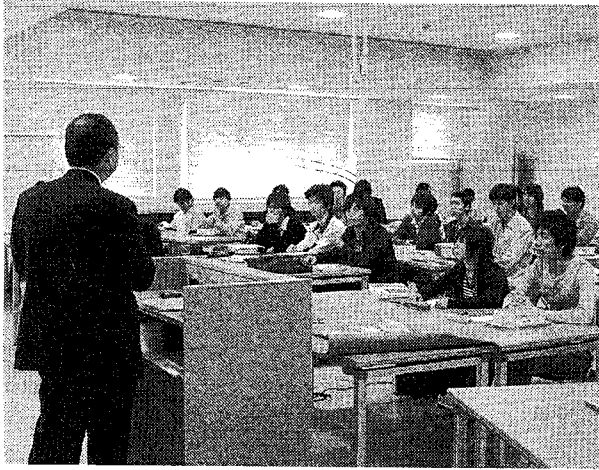
この「共同教育」講座は機械工学科・5年生を対象にして行われ、製造現場の技術者と高専の教員が共同で教育すること、実践的技術者を育てることを目的としている。学生はこの講座を通じて、高専での理論中心の教育に加えて、現役の技術者から実際の機械要素・機器・システムを学び、より実践的な技術を習得する。

最終年度の今年は前期(5月～6月)と後期(10月～12月)の2回開講する。前期は小原歯車工業、不二越、アイエイアイ各社、後期は不二越、ヤマザキマザック、コガネイ、口本トムソン各社の協力を得ることになっている。工場見学は前期に不二越・富山事業所、後期に日本トムソン・岐阜製作所を予定している。

三田商会は日本の「ものづくり」の技術者育成への支援として、学生に同社と取引のある主力メーカーの技術者から直に学んでもらう場として「共同教育」講座を開設した。そしてこの講座を通じて、学生が日本の「技術力」「ものづくりの力」に対する理解と自信を持つとともに実践的な技術を身につけることで日本の「ものづくり力」発展の原動力に成ることを願っている。

07年度にスタートした「共同教育」講座は「機械工学とロボット工学」をテーマに後期(10月～12月)に開講。日本精工、コガネイ、ヤマザキマザック、アイエイアイから協力を得た。昨年(5月～6月)に開講した。また開講に合わせて、初年度には日本精工・前橋プラント、昨年は不二越・富山事業所を見学した。

三田商会は日本の「ものづくり」の技術者育成への支援として、学生に同社と取引のある主力メーカーの技術者から直に学んでもら



NSK講座 (07年10月11日)



不二越工場見学 (08年5月26日)